

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **06119363 A**(43) Date of publication of application: **28.04.94**

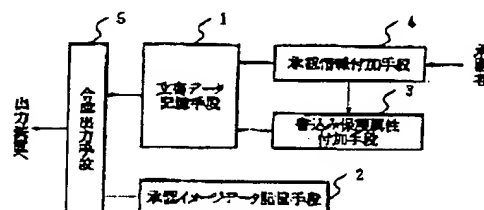
(51) Int. Cl. **G06F 15/22**
G06F 9/06
G06F 12/14

(21) Application number: **04271538**(22) Date of filing: **09.10.92**(71) Applicant: **CHUBU NIPPON DENKI
SOFTWARE KK**(72) Inventor: **NANJO MASAYUKI****(54) ELECTRONIC DOCUMENT AUTHORIZING
SYSTEM****(57) Abstract:**

PURPOSE: To protect the unfair authorization and the content of a document in an electronic document system using a computer.

CONSTITUTION: After the preparation of an electronic document, an authorizer adds authorization information such as the number of pages outputting authorized image data of the number, seal, sign, etc., of an authorizer and the authorized information of locations/sizes, etc., by an authorized information unabling means 4 and makes a writing protection attribute addition means 3 add the changed information of document data. When an operator performs the output request of a document, document data to which the authorized information is added is read from a document data storage means 1, a synthetic output means 5 reads authorized image data from an authorized image data storage means 2 based on this authorized information, synthesizes the data on document data and outputs it to an output device.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio



(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-119363

(43)公開日 平成6年(1994)4月28日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 15/22		7052-5L		
9/06	4 5 0 J	9367-5B		
12/14	3 1 0 F	9293-5B		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 4 頁)

(21)出願番号 特願平4-271538

(22)出願日 平成4年(1992)10月9日

(71)出願人 000213301

中部日本電気ソフトウェア株式会社
愛知県愛知郡日進町大字米野木字南山500
番地20

(72)発明者 南條 正之

愛知県名古屋市中区新栄二丁目28番22号中
部日本電気ソフトウェア株式会社内

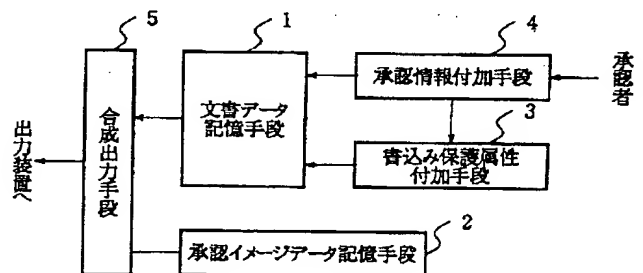
(74)代理人 弁理士 京本 直樹 (外2名)

(54)【発明の名称】 電子文書承認方式

(57)【要約】

【目的】 コンピュータを使用した電子文書システムにおいて、文書の不正な承認や内容の保護をはかる。

【構成】 電子文書の作成後に、承認者は承認情報不可手段4により承認者番号、印章やサイン等の承認イメージデータを出力するページ数および位置・大きさ等の承認情報を付加し、書き込み保護属性付加手段3に文書データの変更情報を付加させる。操作員が文書の出力要求を行ったとき、文書データ記憶手段1から承認情報の付加された文書データが読出され、合成出力手段5はこの承認情報に基づいて承認イメージデータ記憶手段2から承認イメージデータを読出し、文書データ上に合成して出力装置に出力する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ワードプロセッサや電子メールの文書を扱うコンピュータシステムの電子文書承認方式において、作成された電子文書データを記憶する文書データ記憶手段と、承認者の印章やサインをイメージデータとして承認者番号と対応して記憶する承認イメージ手段と、前記文書データ記憶手段に記憶されている電子文書データのデータ変更を不可とする書込み保護属性をその電子文書データに付加する書込み保護属性付加手段と、承認者の操作により前記文書データ記憶手段に記憶されている電子文書データに承認者番号を含む承認情報を付加し、前記書込み保護属性付加手段を介して書込み保護属性を付加させる承認情報付加手段と、前記文書データ記憶手段が記憶している前記承認情報付加手段が承認情報および書込み保護属性を付加した電子文書データを承認者番号の指定により読出し、前記承認イメージデータ記憶手段に記憶している承認者番号に対応するイメージデータを読出した電子文書データに合成して出力装置に出力する合成出力手段とを有することを特徴とする電子文書承認方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は電子文書承認方式、特にワードプロセッサや電子メールで取扱う文書を保護するための電子文書承認方式に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、この種の電子文書承認方式は、文書データの作成時に承認者の氏名を文字データとして入れ込むようにしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上述した従来の電子文書承認方式は、文書データの作成時に氏名を文字データとして入れ込んでいるため、承認者が本当に承認したもののかの確証がなく、承認する資格のない人による承認や、文書の内容の変更がいつでも可能なことから、承認後に文書内容の変更ができるので、電子文書が犯罪、不正行為などの悪意による行為の脅威にさらされているという問題がある。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明の電子文書承認方式は、ワードプロセッサや電子メールの文書を扱うコンピュータシステムの電子文書承認方式において、作成された電子文書データを記憶する文書データ記憶手段と、承認者の印章やサインをイメージデータとして承認者番号と対応して記憶する承認イメージ手段と、前記文書データ記憶手段に記憶されている電子文書データのデータ変更を不可とする書込み保護属性をその電子文書データに付加する書込み保護属性付加手段と、承認者の操作により前記文書データ記憶手段に記憶されている電子文書データに承認者番号を含む承認情報を付加し、前記書込

み保護属性付加手段を介して書込み保護属性を付加させる承認情報付加手段と、前記文書データ記憶手段が記憶している前記承認情報付加手段が承認情報および書込み保護属性を付加した電子文書データを承認者番号の指定により読出し、前記承認イメージデータ記憶手段に記憶している承認者番号に対応するイメージデータを読出した電子文書データに合成して出力装置に出力する合成出力手段とを有することにより構成される。

【0005】

【実施例】次に、本発明について図面を参照して説明する。

【0006】図1は本発明の一実施例の構成図である。図1の実施例はワードプロセッサや電子メールの文書データを記憶する文書データ記憶手段1と、承認者の印章やサインをイメージデータとして持ち、承認者番号に対応させて記憶する承認イメージデータ記憶手段2と、文書データ記憶手段1が記憶している文書データの変更を不可とする書込み保護属性を付加する書込み保護属性付加手段3と、承認者の操作により文書データに承認者番号、ページ数、位置、大きさ等の承認情報を付加し書込み保護属性手段3にその文書データを変更不可とするよう要求する承認情報付加手段4と、文書データ記憶手段1が記憶している文書データ中の承認情報付加手段4が付加した承認情報の承認番号に対応して、承認イメージデータ記憶手段2が記憶している承認イメージデータを抽出し、その文書データとその承認イメージデータとを合成して出力装置に出力する合成出力手段5とを有している。

【0007】次に、図1の実施例の動作について説明を進めると、文書が完成したときに承認者が文書の内容をチェックし、承認情報付加手段4を使用して承認処理を行う。承認情報付加手段4は文書データ記憶手段1が記憶している文書データに承認者番号、印章やサインの承認イメージデータを出力するページ数、および位置・大きさ等の承認情報を付加し、書込み保護属性付加手段3に文書データの変更を不可とするよう要求する。書込み保護属性付加手段3は文書データに書込み保護属性を与え、以後の文書データの変更を不可能にする。

【0008】一方、任意のときに操作員の出力要求によって、文書データ記憶手段1が記憶している文書データを出力する際、合成出力手段5は、承認情報付加手段4によって文書データに付加された承認情報中の承認番号に対応する承認イメージデータを承認イメージデータ記憶手段2が記憶している承認イメージデータの中から抽出し、文書データに付加された承認情報中の承認イメージデータを出力するページ数、位置、大きさに従って、文書データと承認イメージデータとを合成して出力する。

【0009】図2は本発明の別の実施例を説明するための図である。この実施例ではワードプロセッサで扱う文

書の承認欄に利用者定義文字コードを記入した文書を格納する文書データ記憶手段11と、承認者が自分のマークを利用者定義文字として登録した利用者定義文字ファイル12とを有しており、その利用者定義文字コードを承認者のみが知っているものとする。また、ワードプロセッサは、パスワードを文書に与えることにより以降、パスワードを知る人間のみが文書データを変更できるものとする。

【0010】以上の構成において、文書作成者が文書作成後、承認者は文書の内容をチェックし、承認欄に承認マークに対応する利用者定義文字コードを入力した入力文書13を文書データ記憶手段11に格納する。またこのとき文書に承認者のみが知るパスワードを与える。このパスワードにより承認者以外の人間による承認や、承認後の不正な文書の変更を防ぎ、印刷時には文書データ中の承認者が入力した利用者定義文字コードに対応する承認者の承認マークと文書データとを合成した出力文書14を印刷する。

【0011】

【発明の効果】以上説明したように本発明は、コンピュ

ータによるワードプロセッサや電子メールの電子文書の承認において、承認イメージデータを持ち、出力時に合成して出力すること、および承認者の操作により文書データに承認情報を付加することにより文書データの変更を不可とするので、承認する資格のない人間による不正な承認を防ぐことができ、また、承認後の不正な変更を防ぐことができ、電子文書を、犯罪、不正行為などの人間の悪意による意図的行為から保護することができる効果がある。

【図面の簡単な説明】

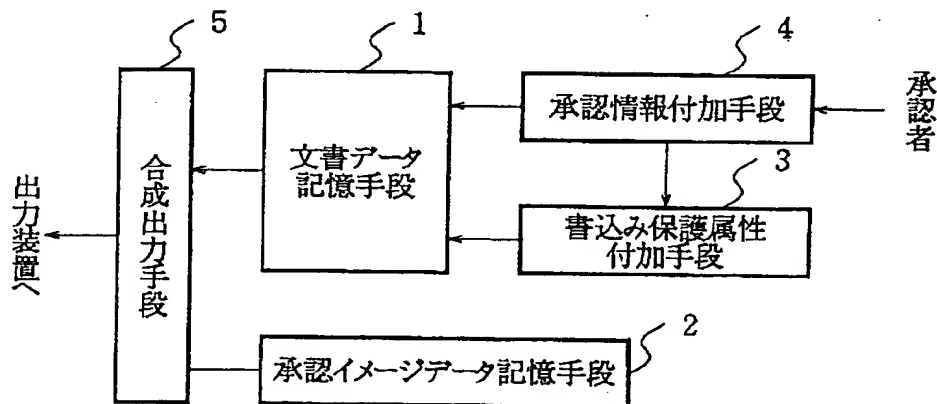
【図1】本発明の一実施例の構成図である。

【図2】本発明の別の実施例を説明するための図である。

【符号の説明】

- 1, 11 文書データ記憶手段
- 2 承認イメージデータ記憶手段
- 3 書込み保護属性付加手段
- 4 承認情報付加手段
- 5 合成出力手段
- 12 利用者定義文字ファイル

【図1】



【図2】

